

# 2010年度 第3四半期 決算説明会

(2010年4月～12月)

富士フイルム ホールディングス株式会社  
2011年1月28日



本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

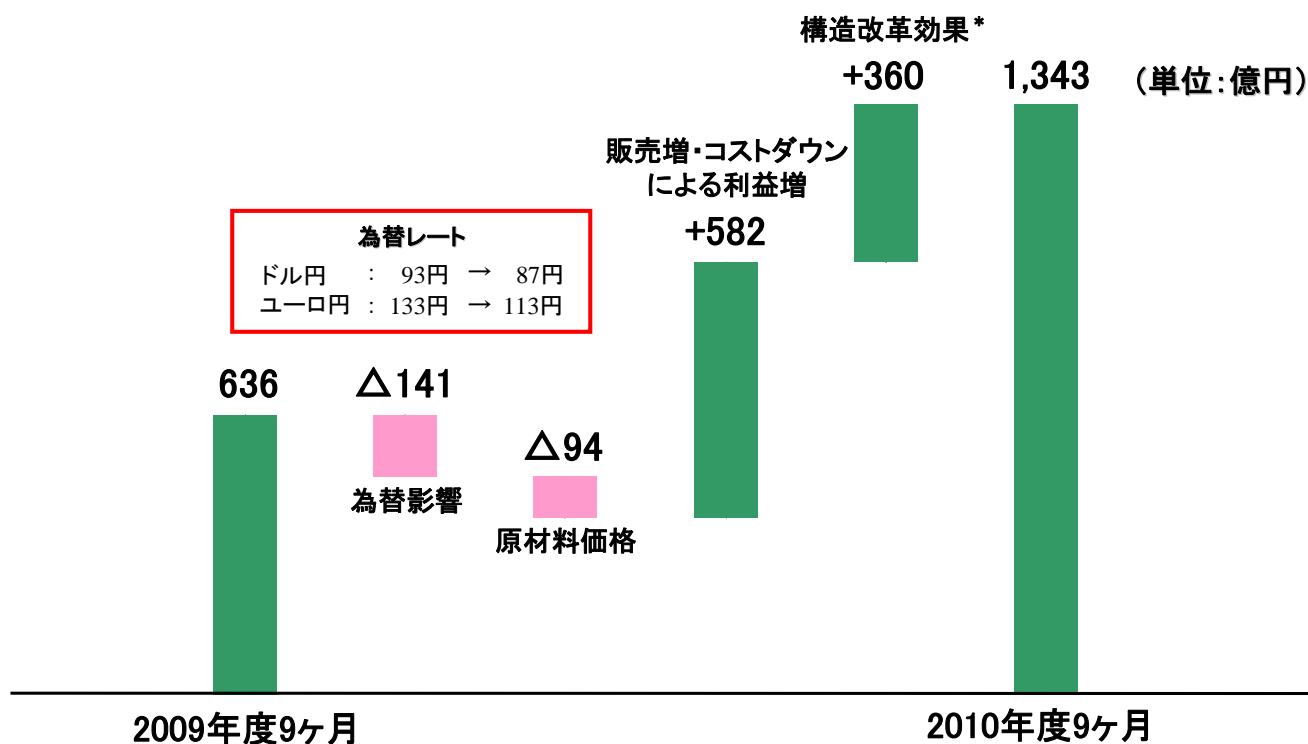
## 2010年度第3四半期(9ヶ月) 連結業績

新製品の投入、新興国向け拡販施策、徹底したコスト削減により損益は大幅改善  
構造改革費用前営業利益は前年比倍増

(単位:億円)	2008年度 9ヶ月累計		2009年度 9ヶ月累計		2010年度 9ヶ月累計		対前年増減	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	100.0%	19,042	100.0%	15,971	100.0%	16,517	+546	3.4%
構造改革費用前 営業利益	4.7%	895	4.0%	636	8.1%	1,343	+707	111.4%
構造改革費用	0.4%	70	4.2%	660	0.7%	118	-542	-82.1%
構造改革費用後 営業利益	4.3%	825	-0.2%	-24	7.4%	1,225	+1,249	-
税金等調整前 四半期純利益	3.0%	563	-0.0%	-7	6.6%	1,091	+1,098	-
当社株主帰属 四半期純利益	1.5%	295	-0.4%	-70	3.5%	584	+654	-
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益		58.64円		-14.31円		119.72円		+134.03円
為替 :米ドル		103円		93円		87円		-6円
:ユーロ		151円		133円		113円		-20円

為替影響を  
除くと  
前年比  
6.6%増

## ■ 構造改革費用前営業利益増減要因(対2009年度9ヶ月)



\* 構造改革効果は、構造改革費用に対応する効果を記載しています

## 構造改革の進捗

構造改革は計画通りに進捗し、着実に効果を創出

### 【費用】

	10年度9ヶ月
イメージング	20
インフォメーション	12
ドキュメント	86
構造改革費用 計	118

単位:億円

09年度(実)	10年度(計)
541	120
643	30
253	150
1,437	300

### 【効果\*】

09年度9ヶ月	10年度9ヶ月
240	600

09年度(実)	10年度(計)	11年度(計)
380	830	900

対前年改善額

360

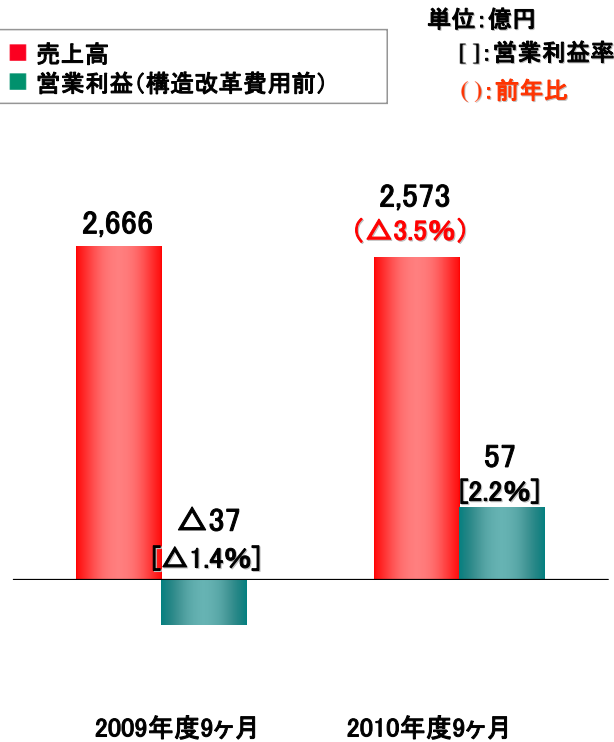
450

70

\* 構造改革効果は、構造改革費用に対応する効果を記載しています

## ■ イメージング ソリューション

### 売上高\*・営業利益



#### 売上高

2,573億円 (前年比 3.5%減)  
(為替影響を除く 前年比: 3.1%増)

- 為替の円高影響があったものの、デジタルカメラの販売が好調に推移したこと等により前年比微減に留める。
- 為替円高影響 △176億円

#### 営業利益

構造改革費用前 57億円 (黒字化)  
構造改革費用後 37億円 (黒字化)

- コストダウンや構造改革の効果等により損益が大幅に改善し、黒字化。

2009年度9ヶ月

2010年度9ヶ月

\*セグメント間取引消去後

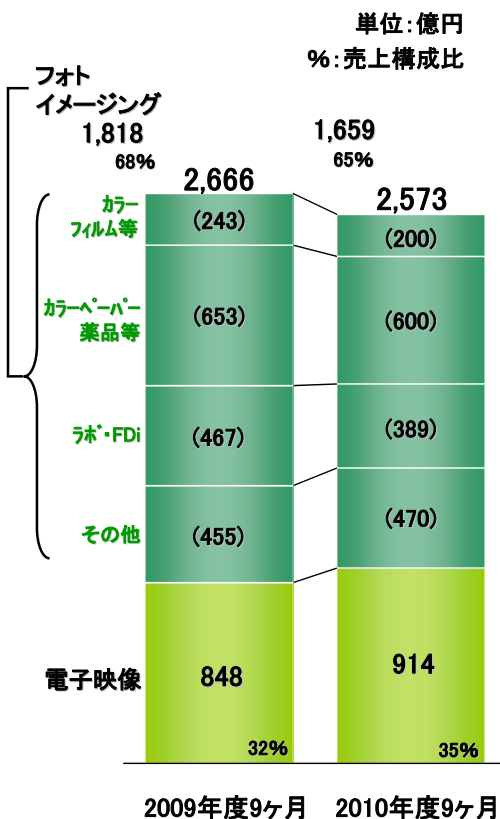
コーポレート経費の組み替えにより営業利益は2009年度に遡りリステート

4

# 事業別セグメント情報

## イメージングソリューション

### サブセグメント売上高



#### フォトイメージング

1,659億円 (前年比: 9%減)

- カラーペーパーは、円高影響により売上が減少したものの、シェア拡大や「フォトブック」等付加価値プリントの販売が好調に推移、販売数量は増加。

#### 電子映像

914億円 (前年比: 8%増)

- 9ヶ月累計の販売台数は、約890万台(前年比約24%増)。BRICsを中心とする新興国での販売やハイエンドモデルの販売が拡大し、全体を牽引。
- 「FinePix F300EXR」や3Dデジカメ「FinePix REAL 3D W3」等特徴ある商品の販売を強化
- 一眼レフを凌駕する高い画質と表現力を実現した高級コンパクトデジカメ「FinePix X100」開発発表。今年春発売予定。

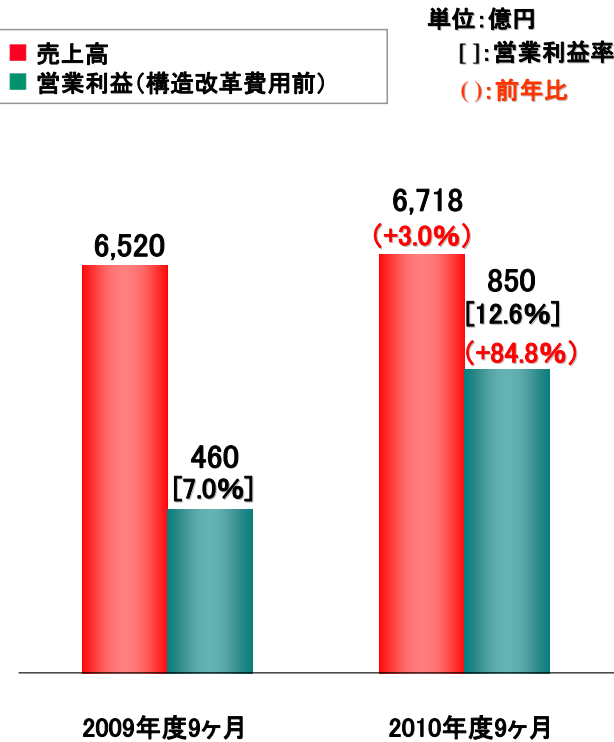
2009年度9ヶ月

2010年度9ヶ月

5

## ■ インフォメーション ソリューション

### 売上高\*・営業利益



#### 売上高

6,718億円(前年比 3.0%増)  
(為替影響を除く前年比:7.0%増)

- 為替の円高影響があったものの、フラットパネルディスプレイ材料事業などをはじめとした主要事業の売上が拡大。
- 為替円高影響 △260億円

#### 営業利益

構造改革費用前 850億円(前年比 84.8%増)  
構造改革費用後 838億円(前年比 14.9倍)

- 為替の円高影響を受けたものの、売上の増加、コストダウン施策の推進や構造改革の効果等により増益。構造改革前営業利益率も大幅に改善。

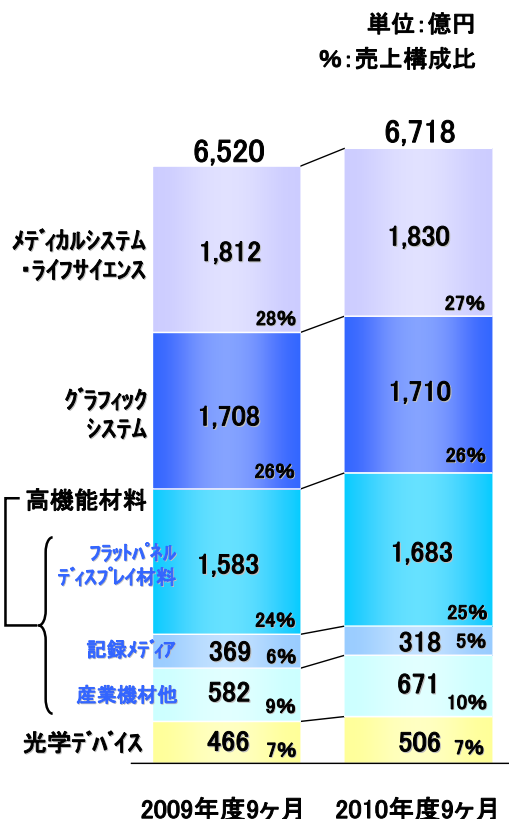
\*セグメント間取引消去後

コーポレート経費の組み替えにより営業利益は2009年度に遡りリステート

6

# 事業別セグメント情報 インフォメーションソリューション FUJIFILM

## サブセグメント売上高



#### メディカルシステム・ライフサイエンス

1,830億円(前年比:1%増)

- 売上は堅調に推移。
- 低価格・小型FCRの販売が好調に推移。DR「CALNEO」シリーズにカセットサイズの「CALNEO C」を発売する等ラインアップを拡充。
- 「SYNAPSE」等の医用画像情報ネットワークシステムは販売が増加したものの円高影響により売上微減。
- 医薬品は、「ゾシン」等の販売が好調に推移。

#### グラフィックシステム

1,710億円(前年比:横ばい)

- 為替の円高によるマイナス影響を積極的な拡販でカバー。
- ワイドフォーマットUVインクジェットシステム「Acuity」や「Onset」の販売が好調。

#### フラットパネルディスプレイ材料

1,683億円(前年比:6%増)

- 中国の内需振興政策等が寄与し、「フジック」「WVフィルム」の販売は好調。

#### 産業機材他

671億円(前年比:15%増)

- イメージセンサー用カラーモザイク、CMPスラリー等電子材料が伸長し、好調を維持。

#### 光学デバイス

506億円(前年比:9%増)

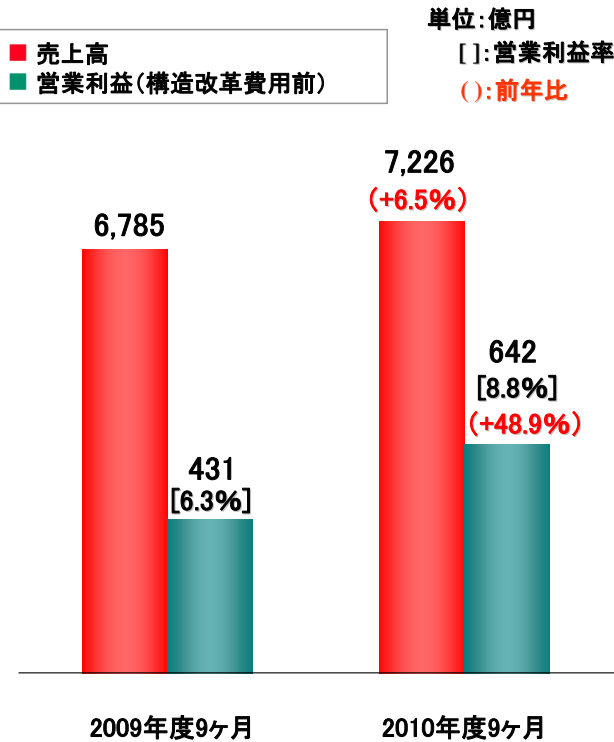
- テレビカメラ用レンズやセキュリティ用レンズ、プロジェクター用レンズの需要が回復し、売上が増加。

\*「ゾシン」:肺炎、敗血症、腎盂腎炎、複雑性膀胱炎に用いる注射剤

7

## ■ ドキュメント ソリューション

### 売上高\*・営業利益



#### 売上高

7,226億円(前年比 6.5%増)  
(為替影響を除く 前年比:7.5%増)

- アジア・オセアニア地域での販売や新興国向けを含む米国ゼロックス向け輸出が増加。
- 為替円高影響 △72億円

#### 営業利益

構造改革費用前 642億円(前年比 48.9%増)  
構造改革費用後 556億円(前年比 85.8%増)

- 売上増による販売利益増と生産量増による原価低減、販管費の効率化により大幅増益。

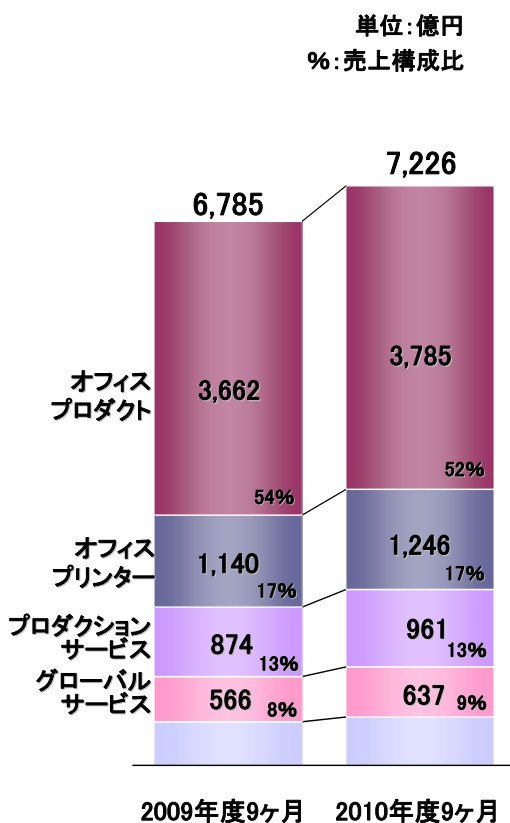
\*セグメント間取引消去後

コーポレート経費の組み替えにより営業利益は2009年度に遡りリステート

# 事業別セグメント情報

## ドキュメントソリューション

### サブセグメント売上高



#### オフィスプロダクト

3,785億円 (前年比: 3%増)

- 国内は カラー機の販売台数が増加。コピー枚数の増加も継続。
- アジア・オセアニア地域は、カラー機の販売台数が大幅に増加。米国ゼロックス向けは、カラー機、モノクロ機ともに出荷台数が増加。

#### オフィスプリンター

1,246億円 (前年比: 9%増)

- 国内外ともに販売台数が増加。特にアジア・オセアニア地域の販売台数、米国ゼロックス向け出荷台数が好調に推移。
- 11月より海外で順次導入した、中小規模事業所市場向け低価格・環境配慮型コンパクトLEDプリンターの販売も好調に推移。

#### プロダクションサービス

961億円 (前年比: 10%増)

- 国内は企業の投資抑制の影響を受ける中で、ライトプロダクションカラー機の販売増により、販売台数が増加。
- エントリープロダクション・カラーシステムの好調により、アジア・オセアニア地域の販売台数、米国ゼロックス向け出荷台数ともに増加。

#### グローバルサービス

637億円 (前年比: 13%増)

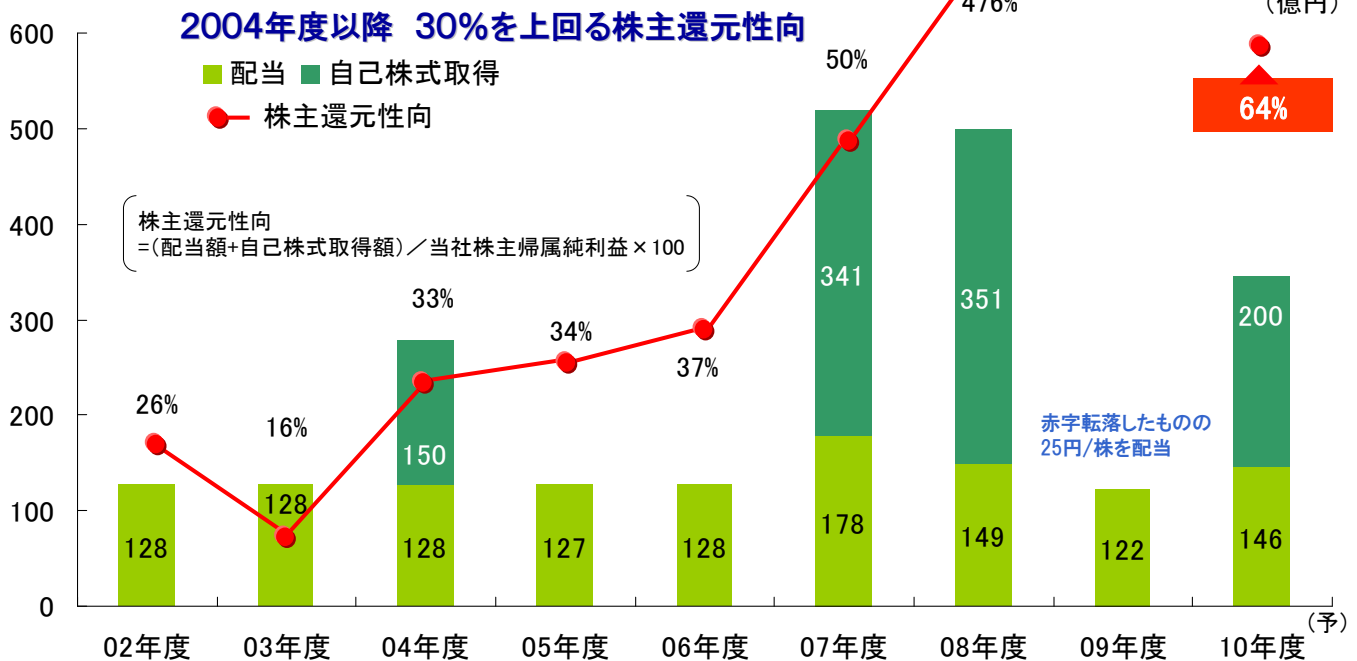
- 国内、アジア・オセアニア地域ともに売上が増加。8月に豪州でマネージド・プリント・サービス(MPS)プロバイダを買収、中小手市場向けサービスの拡大を図る。

## ■自己株式取得実施

- ・取得株式数：695万株(対発行済株式数1.4%)
- ・取得後自己株数：3,294万株
- ・取得価額：200億円
- ・取得期間：2010年11月18日～2010年12月14日

## ■配当金

・配当金(予想):30円/株



10

# 2010年度 通期業績予想修正

	2010年度 修正予想		2010年度 前回予想		対前回予想		2009年度 実績	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	22,400	100.0%	23,000	100.0%	-600	-2.6%	21,817	100.0%
構造改革費用前 営業利益	1,700	7.6%	1,450	6.3%	+250	17.2%	1,016	4.7%
構造改革費用	300	1.3%	250	1.1%	+50	20.0%	1,437	6.6%
構造改革費用後 営業利益	1,400	6.3%	1,200	5.2%	+200	16.7%	-421	-1.9%
税金等調整前 当期純利益	1,250	5.6%	1,180	5.1%	+70	5.9%	-420	-1.9%
当社株主帰属 当期純利益	540	2.4%	600	2.6%	-60	-10.0%	-384	-1.8%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	112.11円		122.80円		-10.69円		-78.67円	

為替感応度(年間/営業利益) US\$ 9億円 ユーロ 8億円

第4四半期の為替前提 US\$ 80円 ユーロ 110円

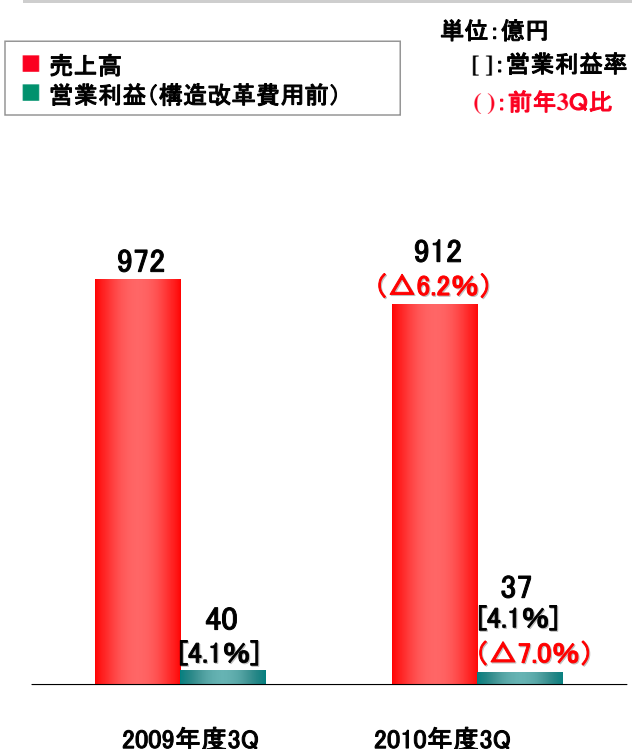
■ 2010年度第3四半期(3ヶ月) 連結業績

(単位: 億円)	2008年度 3Q		2009年度 3Q		2010年度 3Q		対前年増減	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	100.0%	5,657	100.0%	5,536	100.0%	5,464	-72	-1.3
構造改革費用前 営業利益	0.7%	42	6.7%	370	7.3%	398	+28	7.7
構造改革費用	0.5%	29	5.6%	308	0.6%	32	-276	-89.5
構造改革費用後 営業利益	0.2%	13	1.1%	62	6.7%	366	+304	494.7
税金等調整前 四半期純利益	-4.5%	-254	1.3%	72	5.9%	321	+249	345.7
当社株主帰属 四半期純利益	-2.8%	-159	-0.3%	-16	3.3%	181	+197	-
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益		-31.99円		-3.24円		37.23円		40.47円
為替 : 米ドル		97円		90円		83円		-7円
: ユーロ		128円		133円		112円		-21円

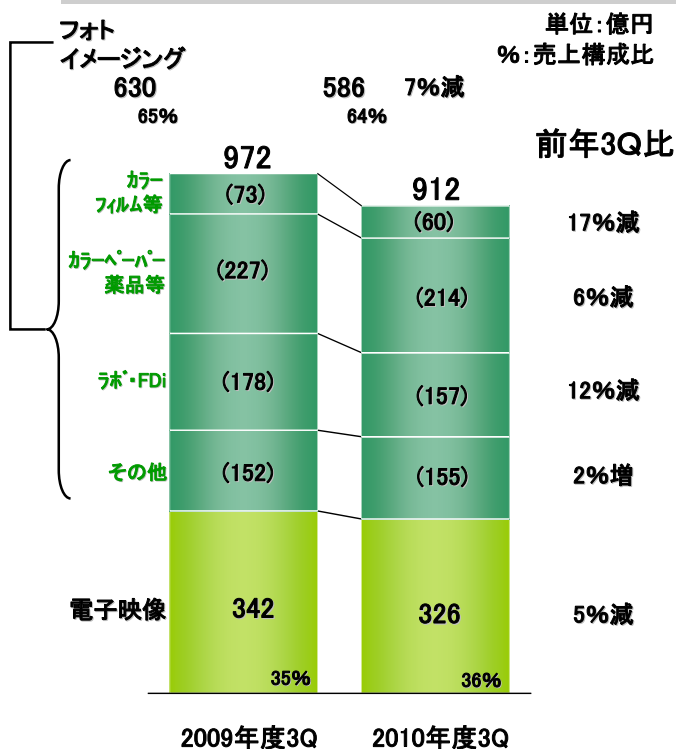
12

■ イメージング ソリューション

売上高\*・営業利益(3ヶ月)



サブセグメント売上高(3ヶ月)



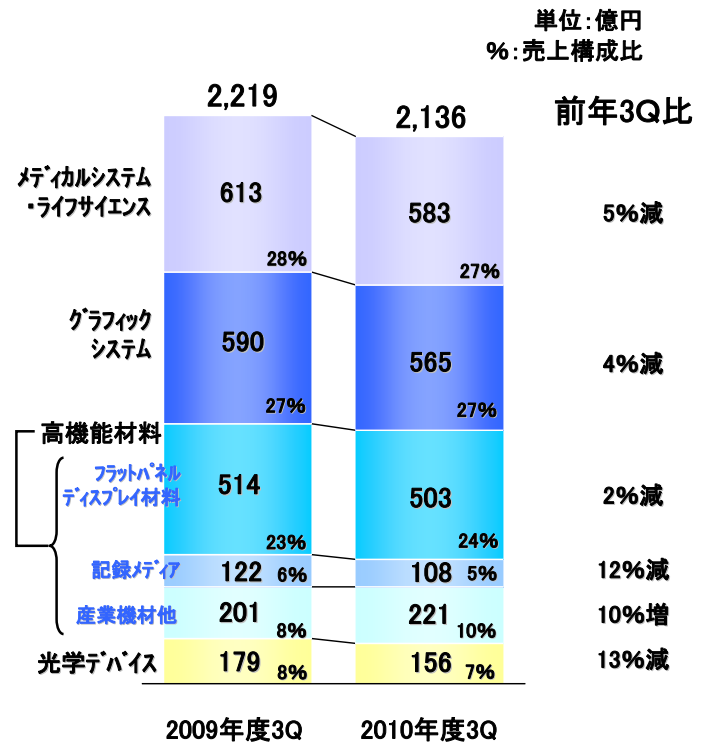
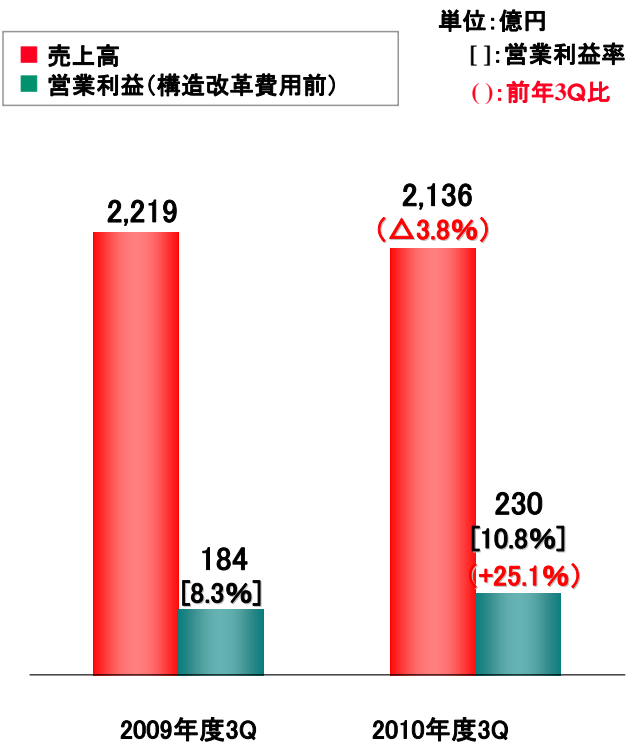
\*セグメント間取引消去後

コーポレート経費の組み替えにより営業利益は2009年度に遡りリステート

## ■ インフォメーション ソリューション

### 売上高\*・営業利益(3ヶ月)

### サブセグメント売上高(3ヶ月)



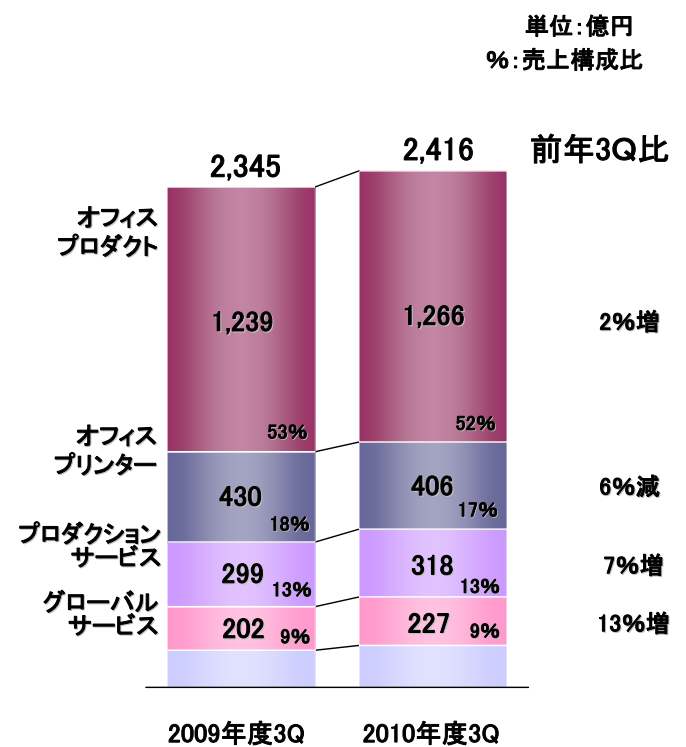
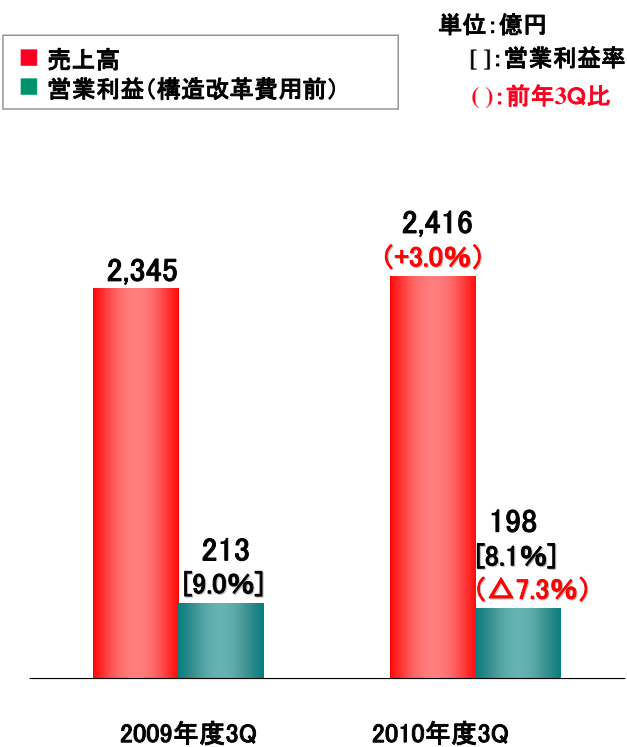
\*セグメント間取引消去後

コーポレート経費の組み替えにより営業利益は2009年度に遡りリステート

## ■ ドキュメント ソリューション

### 売上高\*・営業利益(3ヶ月)

### サブセグメント売上高(3ヶ月)



\*セグメント間取引消去後

コーポレート経費の組み替えにより営業利益は2009年度に遡りリステート



■ 国内・海外別連結売上高

(単位:億円)

	08年度9ヶ月		09年度9ヶ月		10年度9ヶ月		
	構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)		前年比(%)
日本	44.9	8,544	48.1	7,678	45.8	7,570	-1.4
米州	18.8	3,594	16.6	2,656	17.1	2,825	6.4
欧州	15.0	2,853	12.4	1,988	11.8	1,947	-2.1
内、中国	8.1	1,549	9.8	1,566	11.1	1,835	17.1
アジア他	21.3	4,051	22.9	3,649	25.3	4,175	14.4
海外	55.1	10,498	51.9	8,293	54.2	8,947	7.9
合計	100.0	19,042	100.0	15,971	100.0	16,517	3.4

参考データ

■ 設備投資、減価償却費

(単位:億円)

	2008年度			2009年度			2010年度		
	3Q	9ヶ月	年度	3Q	9ヶ月	年度	3Q	9ヶ月	年度(予)
イメージング	27	99	123	22	63	91	16	56	-
インフォメーション	121	468	596	50	203	285	179	412	-
ドキュメント	146	292	404	32	244	403	29	111	-
コーポレート	0	2	1	0	0	0	7	16	-
設備投資 ※	294	861	1,124	104	510	779	231	595	1,000
イメージング	39	161	227	48	162	219	22	71	-
インフォメーション	299	849	1,118	253	738	991	188	554	-
ドキュメント	197	578	776	197	533	736	163	497	-
コーポレート	1	4	5	2	4	5	10	28	-
減価償却費	536	1,592	2,126	500	1,437	1,951	383	1,150	1,600
有形固定資産の減価償却費 ※	382	1,121	1,499	348	980	1,351	259	770	1,100

※ドキュメントソリューション部門のレンタル機器を除く。

## ■ 研究開発費、販売費及び一般管理費

(単位:億円)

	2009年度			2010年度		
	3Q	9ヶ月	年度	3Q	9ヶ月	年度(予)
イメージング	21	62	85	15	52	-
インフォメーション	179	560	772	186	537	-
ドキュメント	150	494	659	155	489	-
コーポレート	54	171	235	54	162	-
研究開発費	404	1,287	1,751	410	1,240	1,700
<売上高比>	7.3%	8.1%	8.0%	7.5%	7.5%	7.6%
販売費及び一般管理費	1,460	4,417	5,882	1,442	4,253	5,900
<売上高比>	26.3%	27.6%	26.9%	26.4%	25.8%	26.3%

コーポレート経費の組み替えにより実績は2009年度に遡りリステート

18

# 参考データ

## ■ キャッシュフロー

(単位:億円)

	08年度9ヶ月	09年度9ヶ月	10年度9ヶ月
四半期純利益	360	-43	647
減価償却費	1,592	1,437	1,150
受取債権の増(-)減(+)	471	-70	-221
棚卸資産の増(-)減(+)	-277	402	-475
営業債務の増(+)-減(-)	-262	20	-61
未払法人税等他負債の増(+)-減(-)	-776	-143	-119
その他	89	464	277
営業活動によるCF	1,197	2,067	1,198
設備投資	-1,118	-641	-673
ソフトウェアの購入	-154	-113	-124
有価証券・投資有価証券等の売却・購入	312	-108	-67
その他	-38	-85	-225
投資活動によるCF	-998	-947	-1,089
フリーキャッシュフロー	199	1,120	109
営業活動によるCF+設備投資	79	1,426	525

19

■ 連結貸借対照表

(単位:億円)

	08年度末	09年度末	10年度12末		08年度末	09年度末	10年度12末
現金及び現金同等物	2,701	4,062	3,811	長短社債及び借入金	3,215	2,956	3,195
受取債権	4,725	4,950	4,981	支払債務	2,215	2,616	2,447
棚卸資産	3,683	3,031	3,397	その他流動固定負債	4,814	3,944	3,671
有価証券 その他流動資産	1,918	2,062	1,950	負債計	10,244	9,516	9,313
流動資産計	13,027	14,105	14,139	株主資本計	17,563	17,461	17,231
有形固定資産	6,980	6,017	5,620	非支配持分	1,159	1,297	1,264
営業権	3,290	3,259	3,308	純資産計	18,722	18,758	18,495
投資有価証券 その他資産	5,669	4,893	4,741	負債・純資産合計	28,966	28,274	27,808
固定資産計	15,939	14,169	13,669				
資産合計	28,966	28,274	27,808				

期末日を替レト	08年度末	09年度末	10年度12末
米ドル	98	93	81
ユーロ	130	125	108

(単位:円)

■ 富山化学工業(株)新薬開発スケジュール

開発番号	薬効	地域	開発段階					申請	剤形
			非臨床試験	P I	P II	P III			
T-614	抗リウマチ剤	日本							経口
T-3811	ニュータイプのキノロン系合成抗菌剤	日本							注射*
		米国							経口/注射
		欧州							
T-705	抗ウイルス剤	日本							経口
		米国							
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療剤	米国							経口
T-5224	抗リウマチ剤	日本							経口
		海外							
T-2307	抗真菌剤	米国							注射
T-1106	抗ウイルス剤	日本							経口

\* 経口剤は「ジェニナック」として発売

T-705は、日本においてPⅢの症例収集が終了。

■ 為替、人員

● 為替

	2009年度						2010年度					
	9ヶ月						9ヶ月				予想	
	1Q	2Q	3Q		4Q		1Q	2Q	3Q		4Q 予想	
米ドル	97	94	90	93	91	93	92	86	83	87	80	85
ユーロ	133	133	133	133	125	131	117	111	112	113	110	112

\* 為替感応度(年間) (1円の変動につき)

	営業利益
米ドル	9億円
ユーロ	8億円

● 人員

	2009.12末	2010.3末	2010.6末	2010.9末	2010.12末
連結	75,333	74,216	75,721	77,616	78,177

FUJIFILM

わたしたちは、先進・独自の技術をもって、  
最高品質の商品やサービスを提供する事により、  
社会の文化・科学・技術・産業の発展、  
健康増進、環境保持に貢献し、  
人々のクォリティ オブ ライフのさらなる向上に寄与します。

富士フイルム ホールディングス株式会社

経営企画部 IR室

<http://www.fujifilmholdings.com>